

和光市子ども・子育て支援会議委員各位

和光市子ども・子育て支援会議  
会長 森田 明美

令和2年度第2回和光市子ども・子育て支援会議に対する審議結果について（報告）

令和3年3月24日付で書面開催した標記会議の審議事項等について、委員の皆様から議題に対する承認の是非及びご意見の回答をいただきましたので、下記のとおり報告いたします。

つきましては、この報告を持ちまして、令和2年度第2回子ども・子育て支援会議を終結とさせていただきます。

委員の皆様には、お忙しいところ資料の確認及びご意見を頂戴し、ありがとうございます。

令和3年度の和光市子ども・子育て支援会議は、委員の皆様と対面し議事が諮られるよう、会議の開催方法を見直してまいりたいと考えております。

今後も、子ども・子育て支援会議運営に、ご理解・ご協力頂きますようお願い申し上げます。

## 記

### 1 審議事項

議題1：第2期子ども・子育て支援事業計画の評価手法について

### 2 報告事項

議題2：令和2年度第3回和光市子ども・子育て支援会議施設認可部会報告

議題3：和光市児童館及び学童クラブ一体型放課後対策事業の運営について

### 3 結果報告

審議事項（議題1）を、原案のとおり承認する。

報告事項（議題2及び3）に対する意見なし。

なお、提出された以下の意見については、記載のとおり対応いたします。

<意見>

○意見1

・議題1の「今後の課題と方向性」について

子どもが通っていたほんちょう保育園の運営委員会で相談するのが良いと思う。先生

方は子どもたちのことを本当によく見ていただいております、どのような年齢層であればどういうことを「直接」または「間接」で調査できるかアドバイス頂けるかと思う。未就学児はこのような観点で自己肯定感を持てるように働きかけていく段階でありそのような働きかけを保育園、幼稚園の場でどの程度行ったか？という施設側の実施度で評価するのもいいのではないかと。ほんちょう保育園卒園式での園長先生の言葉に「みんなちがってそれでいい」というのがあった。このような働きかけの継続こそが就学後につながると考える。

**【意見1に対する対応】**

今後、ほんちょう保育園を含める公設園と調整し、実施に向けた対応を検討します。

○意見2

学童連協は解散するが、今後も学童運営及び設備の改善に努めていただきたい。今まで学童連協として保護者意見をアンケートにて収集・集約し要望書として提出していたが、今後は保護者からの意見が直接市及び指定管理者に届く仕組みづくり、保護者の声を能動的に吸い上げる働きかけを行って欲しい。

**【意見2に対する対応】**

学童クラブの指定管理者には、毎年利用者アンケートの実施を義務付けており、アンケートを通じて子どもや保護者からの声・ご意見を頂戴する仕組み及びその報告体制は構築されております。今後も、市と指定管理者でより皆様の声を吸い上げることができるよう調整していきます。

○意見3

事業評価については、ぜひとも質的評価を入れるようお願いしたい。

以 上